

あしたか ニュース

No. 203

2016年
3月

編集
発行



愛鷹地区コミュニティ推進委員会
TEL・FAX 966-5301 (愛鷹地区センター)



どんど焼き 青野

1月10日(日)

九日の朝、子供会、保護者、町内の皆さんが協力して、おんべ、こんべを作りました。竹で骨組みを作り、それにカヤと子供会が集めたお飾りを取り付けて、今年も立派に出来上がりました。

勢いよく火の手が上がり、パンパンと竹の割れる音が響きました。だんごが焼ける間、お汁粉、豚汁で体をあたためました。このどんど焼きを見ると、お正月も一段落なんだなあと感じます。

(中村)



目次

- 防災訓練…………… P 2
- ふるさとあしたか
あの人・この人…………… P 3
- 子育てサロン 28年度の予定
見守りボランティア募集
皆さんの心、届けます
- きずな《成人式》…………… P 4～5
- あしたか
ゆく年くる年…………… P 6～7
- 間伐材でつくろっ!!…………… P 8

青野

消防団員の指導で可搬式ポンプの操作方法を学び、実際に貯水槽の水を使って田んぼに向けて放水を体験しました。高校生の女の子は「水の勢いが強くて体が後ろに持っていかれそうになりました」と話していました。

発電機をかける実践もしてみました。女性の力では力いっぱい引かないとエンジンがかからないことがわかり、小学生は両手で引いてかけていました。

いざというときに互いに協力し合えるように、定期的な訓練は必



要だと感じました。

多数の方々が参加して有意義な体験ができました。

(中村)

エンゼルハイム西椎路



7階建てのマンションなので避難通路の確保、連結送水管前の駐車禁止の徹底を確認しました。訓練としては、毛布を簡易担架にし

て怪我人の救出搬送、おんぶしての搬送、消火器の使用手順の確認を行いました。

地震、台風、竜巻、ゲリラ豪雨、火事など災害はいつ起きるかわかりません。普段から、被災したらまず何をすべきか、避難場所に向かう前にする事とは何か、を一人ひとりが考えておくことが大切だと思います。

災害に遭った時「火事場の馬鹿力」なるものを住民全員が出せることを期待しています。

(望月)

防災訓練

12月6日(日)

* 終了後は
ゴミ拾いを行いました

目黒身

市の防災サイレンが鳴った午前9時から、目黒身公園で訓練が開始されました。

小中高校生を含む一〇〇名の避難が確認された後、消火訓練と三角巾の使い方等の訓練を受けました。

消防団員の指導で行われた消火器を使っての消火訓練では、初期消火の大切さと、自分の身を守りながら効果的に消火する方法を確認することができました。

町内に三か所設置されている消火栓の確認も行い、消防車が到着するまでの間に取るべき行動につ



いて学びました。

(伊藤美)

久保

午前9時に防災サイレンが鳴り響き、それを合図に高台にある桜公園に避難を始める。集合後、点呼をとり人数を確認。続いて毛布と物干し竿を使った簡易担架の作り方や搬送の仕方、消火器を使うための初期消火訓練を行った。

終了後のインタビュで自治会長は「今回も多く参加者が有意識の高さがうかがえ、頼もしい限りだ。ただ参加者のほとんどが元気な方で問題なく集合場所に集まれたが、高齢者に坂道は大変だと思う。実際の場面では「自助・共助・公助」の精神で助け合っ



ていきました。また各町内での訓練も大事だが、愛鷹地区全体での実際に人が動く防災訓練も必要かも」と語っていた。

(大嶽)



緊急地震速報、自分のガラケーだけ鳴らない…何でとす？

悪質な場合は、罰則が設けられていますか
ら、ご注意を。



タバコのポイ捨て、
吸い殻には発火の危
険があります。
これら以外の物で
も、捨てるのは市の
条例違反。

(望月)

愛犬家、愛煙家のみなさま。
犬の糞、そのままにしませんか。
通勤や通学、散歩のとき、踏みつけてしまつ
て不愉快な思いをしている人がいます。
見かねた近所の方が、毎朝のように始末を
してくれているのです。でもキリがない。

ふるさとあしたか あの人・この人

通勤途中のとても気になる方。「ゴミ拾い？
思い切つて声をかけたところ、突然のこと
にもかわらず快く話してくれました。
毎朝一時間程するウオーキング、目につい
た「ゴミを持ち帰っていること」。
なかなか出来ないことですよ、の言葉に
「ゴミが落ちているから拾う、特別なことでは
ないし、普通のことをしてしているだけ」と。
なにか恥ずかしい自分。
大勢の人がこうした気
持ちになったなら、愛鷹
はもつともつと住みよい
街になるのでは、と感じ
ました。
(木村)



子ども達の朝は早い。
学校の始業に間に合うよ
うに、家を出るのが六時半
過ぎの子も。
そつした子ども達に、「お
はよう」の声をかけながら
共に歩き、見守る方。
横断歩道で、通学路で、校門横で…。今日
も元気に過ぎてくれたら、それが何より。
「ゴミを拾っている方。自身の健康のためと
謙遜しつつ、「ゴミがあるから拾うだけ。見て
見ぬふりは悲しいじゃないですか」と気負い
もなく、淡々とした様子。今日は山のほう、
次は畑のほうへと歩いているそうです。
自分の住む処が、荒れてしまつたら寂しい。
そつ思う心は誰もが持つているはずなのに、
わが身を振り返ると心苦しい。
「ゴミは少なくなつてきましたか?」の問いに、
「タバコの吸い殻が多いこと。大人がこれ
は。だから続けます」本当に
頭の下がる思いでした。
犬の散歩をしている方。後
始末は大丈夫? シャベルを
持つた方は多いのよ、
側溝に草かけに何故
かお忘れ物が…。
それぞれが気付いたことをすれば、誰かが
力をもちつたり、ホツとしたり。
そついう愛鷹つとつても嬉しい。
わたしに出来ること、今やれることを心が
け、「ゴミを捨つけないまでも捨てるようなこと
はしないぞ、と思つています。」
(久保田)



見守りボランティア募集のお知らせ

新学期を迎えるにあたり、子ども達の登
下校の時や自身の散歩の時などにオレンジ
のベストを着ていただける方を募集してい
ます。このベストが不審者への抑止力とな
ります。子どもの安全を地域で見守りたい
(隊!)ですね。
愛鷹小(☎966-4244) 教頭先生が窓口です。

皆さんの心、届けます

～募金にご協力
ありがとうございました～
納涼まつり、コミュニティまつりで集ま
った募金は総額111,325円になりました。
ゴミ役員が栗原市長を訪ね、「東日本大震
災の被災地への義援金として役立てて」と
いう皆さんの心を伝え手渡します。

子育てサロン 28年度の予定

	びよびよ (第1金曜)	エンゼルサロン (第3金曜)
4月	—	15日
5月	—	20日
6月	3日	17日 健康相談
7月	1日	15日 リトミック
8月	5日	—
9月	2日	—
10月	7日	21日 健康相談
11月	—	18日
12月	2日	16日 クリスマス会
1月	6日	—
2月	3日	17日 リトミック
3月	3日	—

《エンゼルサロン》
*子育て支援センター(あしたか保育園内)
の保育士さんが体操、うた、お遊戯を教え
てくれます。
*お話の会でおなじみの村上さんが読み聞
かせや手遊びをしてくれます。
*6/17、10/21は、市保健センターの保
健師さんが身長・体重を計測して、歯や栄
養など成長の心配ごとの質問に個別に答
えてくれます。母子手帳を持ってきて下さい。
《びよびよ》
*びよびよは中学校区ごとに開催されてい
て、日程は市のホームページにのってい
ます。あちこちに出かけてもいいんですよ。
問い合わせは愛鷹地区主任児童委員
川口(☎966-7032)
江本(☎921-6535)に。どうぞ!!

会場：愛鷹地区センター

きずな

第36号

2016年(平成28年)
3月1日 発行

愛鷹地区
健やか会だより

『出会う楽しみ・ふれあう楽しさ・分かち合う喜び』



一月十日(日)、ニューウェルサンピア沼津で成人式が行われました。
天候にも恵まれ、男子65名、女子50名、計123名の新成人が出席しました。
中でも会場に一番に訪れた小澤恭輔さんは、新成人を代表して誓いの言葉を述べ、女子で一番だった小澤美咲さんが記念品を受け取りました。
華やかな衣装で緊張気味の様子でしたが、来賓の方々や懐かしい恩師たちに「成人おめでとうございます」と言われるとみんなの顔に笑顔がこぼれました。穏やかに式典を終えた後、愛鷹太鼓保存会によるお祝いの演奏で会場はひとつになり大いに盛り上がりました。
その後の懇親会では友人や恩師と写真を撮り合ったり、尽きない話で楽しい時間を過ごしました。





一年を振り返って

補導部長 榎原克美



補導部の活動で、年間を通して月に一回、

愛鷹地区のコンビニ・書店などの夜回り、納涼まつり、ワイワイキャンプ、コミュニティまつり等校区の行事への参加及び沼津の夏祭りや高尾山の祭りの見回りと、多くのイベントに携わり、青少年が犯罪に巻き込まれないよう、微力ながら見守ってきました。この活動に関わって、行事の面白さ、企画側の役員さんたちの並々ならぬ尽力に感動しました。





く年 くる年

地区社協
ふれあい
「夢」コンサート



美しい歌声に、うっとり♪

十二月五日(日)、鈴木みさほさん(赤坂)のソプラノと西山和枝さん(鷹根台)のピアノによるふれあい「夢」コンサートが地区センター大会議室で開かれました。

「浜千鳥」や「荒城の月」など、多くの曲を情緒たつぷりに歌い上げると、美しい声が会場いつばいに響き渡ります。その歌声をより鮮やかにしているピアノ伴奏は、控えめながらも無くしてはならない存在感です。熱心に聞き入っていた人々は、終わってしまつのが名残惜しそつでした。

懐かしいときが流れるなか、温かい飲み物とおいしいお菓子、そして珠玉のコラボに大満足の様子でした。

夢倶楽部
セピアコンサート
12月19日(土)

旧館で行われたコンサートには、市外からの来場者を含め百四十名の観客数で、二階席まで満席となりました。会場はクリスマスパーティー風に飾り付けられ、大きなサンタクロースも登場。子ども達のハンドベルの演奏、尺八や木魚等の和楽器を取り入れたアンサンブルや大人のハンドベルの演奏が披露され、観客も一緒に歌ったり、ツリーを作ったり。イントロクイズやティータム、おまけの福引と盛り沢山のおもてなしに歓声と笑顔があふれていました。



元旦歩こう会

暖かいお正月とはいえやはり早朝は冷え込み、空には星が輝いて、初日の出に期待が膨らみます。

観音堂をめざし山道を一番に登って来たのは中学生でした。式典が始まるころには、たくさんの人で境内が埋め尽くされ、あちらこちらで新年の挨拶の音が聞こえました。東の空が輝いて期待通りの見事なご来光が現れました。その光を浴びた人々の表情は清々しさであふれていました。



良い年になりそう!

今年も、交通安全会は街道の要所で安全を見守り、方面隊は境内で焚火の始末、体育委員会は式典や甘酒等の準備をして、約六百人の参加者を迎えました。関係された皆さん、苦労さまでした。

西部ブロック
レクスポ大会
1月24日(日)

今沢小・中学校体育館で西部ブロック(愛鷹、浮島、今沢、原、片浜)大会が行われました。ファミリーバドミントンは、四月から行っている「ファミリーバドミントン教室」の参加者がチームを作り初参戦しました。



《結果》

- ソフトバレーボール
- Aブロック(男子) 4位
- Bブロック(女子) 4位
- Cブロック(混合) 優勝
- ファミリーバドミントン
- Dブロック(混合) 4位
- Eブロック(混合) 優勝
- Fブロック(混合) 優勝



あしたか ゆ



今、宇宙が熱い！
～星を観る会～

冬の大三角・**田カール**・は
やぶさ2・スイングバイ・す
ばる・ハッブル・太陽系第9
惑星……

皆さん、いくつ解りますか？
一月十六日(土)、地区センター
で「星を観る会」が開催され
た。

過去2回連続で曇り空に当
たり星を観ることができな
かったこの会だが、今年の予
報は晴れ。当日参加の方もい
て、親子連れや友達同士そし
てお一人様と多数集まり、慌
てて机を追加するほどの盛況
になった。

地区社協会長の挨拶の後、
講師の水本さんが冬の星座に
ついてわかり易く説明してく
れた。月の満ち欠けの仕組み
や太陽系の位置関係について
もクイズ形式で楽しく学んだ。
ここで食事タイム。手作り

の美味しいカレーライスを皆
で堪能した。また沼津市危機
管理課提供のサブイバルフー
ズ（非常食）の試食会も併せ
て行われた。

さていよいよ暗くなり、グ
ラウンドに移動して天体観測
が始まる。三脚で固定された
複数の天体望遠鏡や双眼鏡を、
参加者は交代で覗いては歓声
をあげていた。「星を観るのに
双眼鏡？」と思うかもしれな
いが、天体望遠鏡だと拡大さ
れすぎて星の位置関係が掴み
づらいため、初心者には周り
の星も観える双眼鏡くらい
の倍率の方が見やすいそうだ。

上弦の月・オリオン座・プレ
アデス星団（スバル）・カシオ
ペア座・北極星などを観るこ
とができ、寒い中だったけれ
どとても有意義な時間を過ご
せた。

スタッフの皆さん、寒い中
ご苦勞様でした。（大嶽）



交通安全 凧づくり凧あげ大会

一月三十日(土)、子ども達の
交通安全を願う凧づくり凧あ
げ大会が開催され、子どもと
保護者四十四名が参加しまし
た。

交通安全指導員のお姉さん
二人により、ボード2枚に描
かれた歩道の歩き方など交通
安全に関するクイズ3問が出
され、子ども達は元気に手を
上げて答えていました。

凧づくりの講師はベテラン
の向坂さんが務め、来賓の方々
や自治会長、地区社協・交通
安全会の役員もサポート役と
して指導にあたりました。

凧づくりが始まりました。
まず紙を貼り合わせ、竹材を
組み立て、次に凧糸をしばり
ました。これが意外と子ども
だけでは難しく、サポート役
の協力を得て作業してしまし
た。お父さん、お母さんは子
どものがんばりを優しく見守
り、困っているときは手助け
をして凧が完成しました。お
昼に婦人会や有志の方々が
作ってくださったカレーがと
てもおいしかったです。



思い思いの絵を描いた凧が完成！

3月19日(土)午後3時

愛鷹スマートIC供用開始！

～周辺道路も交通量増加が予想されます～

それぞれのご家庭、特にお子さんの
いる家では道路に出る時には周りをよく見る、絶対に飛び出さないなど、事故に遭わないために気を付けることを改めて約束できたら良いですね。

当日は残念ながら天候が悪
く、グラウンドで凧をあげる
ことができませんでしたが、
子ども達は完成した凧を持っ
て楽しく記念写真を撮ること
ができました。（庄司）

かんぱっせい 間伐材でつくろっ!!



一月三十一日(日)、間伐材でつくろっ!! が地区センターグランドで開催されました。前日の雨が上がり、時折雲間から陽が差す冬日和でした。このイベントは、沼津市が開催している「沼津市協働のまちづくり人材育成講座」で、愛鷹地区在住の方々が話し合い・提案した「まちづくりプロジェクト」に基づき、「にぎわいづくり」のＣチームが開催したもので、愛鷹財産区(学林)の間伐材を利用してのものづくりイベントです。



参加者は親子四十二名で、午前9時から開会式が行われ、このイベントの趣旨や間伐材とは何か、作業上の注意事項の説明がありました。開会式終了後、三、四人のグループに分かれ、間伐材の太い幹を輪切りにした板・松かさ・ペットボトルのふたなどを材料に、のこぎり・のみ・金づち・キリなどの道具、さらに釘や接着剤を使い、「コアラ」などの動物・いす・メダル・帽子掛け・ベンチなどをつくりました。会場にはスタンプが丸太を加工するチェンソーの音が響いていました。のこぎりも金づちも最初は使いこなせませんでしたがお父さん、お母さんに手伝ってもらい、スタンプの力も借りて、少しずつ

まけてくるようになりました。午前中の作業が終わり、昼食はブルーシートの上で豚汁とおむすびをいただきました。午後1時に再開し作業の続きを行い、全員で片付けをして2時過ぎに終了。閉会式では「ふだん体験できないことができてよかった」との感想が参加者代表の中学生から出され、「また参加したい」との声も聞かれました。スタンプの皆さんに感謝をして、作品と心地よい疲れをお土産に解散となりました。

かんぱっせい 間伐材でつくろっ??

森林をそのままにしておくのと太陽の光が十分入らないため、ひよろひよろと高く幹の細いひ弱な木になり、将来役に立つ丸太(原木)になりません。そのため、混んでいる木々を間引く必要があるのです。このことを「間伐」と言います。その木材を「間伐材」と



地区の幼稚園・保育園に寄贈しますので、ご覧ください。このイベントが継続して行われ、愛鷹財産区や愛鷹山・森林への関心が高まると思いますね。(二澤)

言います。

間伐を行わないと、昼でも地面には光が当たらず下生え(木の下に生える草や低木)が生えなくなり、下生えがなければ、地表の土は雨で流れてしまい、山は水を貯える力を失くし、大水や山崩れといった災害を引き起こすことになります。このように、間伐を適正に行うことは環境や防災上からも必要なのです。

平成二十七年年度三回 愛鷹地区ニューズ 編集委員

石井いづみ (編集委員長)
小野よし子 (副委員長)

江本 文子 ()
牧野しのぶ ()
久保田光子 ()
田嶋 孝雄 ()

【四班編集委員】

木村 千秋 (堤山)
大嶽 真一 (久保)
三澤 誠 (中尾)

伊藤 美里 (目黒身)
中村千津子 (青野)
望月 昭男 (自主防災)

伊藤 郭 (環境美化)
庄司 敏彦 (交通安全)

【きずな編集委員】

稲 寿子 (健やか会)

編集後記

春はまだ浅く、風には冷たさが残りますが、木々の蕾は心くらくらみ、春の気配を感じます。あしたかニューズ203号編集委員全員で何度も話し合い、出来上がりました。いろいろな愛鷹を切り取りました。ぜひご覧ください。(木村)